

# ネイチャーウォッチングだより

令和4年11月23日(水)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

11月19日(土)、快晴の下、Aグループ最後のネイチャーウォッチング「化石を発掘しよう」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の第8波が心配される状況の中、参加された皆さんの感染対策へのご理解とご協力を得て実施することができました。今回は、27家族84名の皆さんが化石の発掘に挑戦しました。受付で「化石の発掘は初めてなので、とっても楽しみにしていました」と話される保護者もいて、期待の高さを感じました。

会場は、豊橋市南部の太平洋(遠州灘)に面した伊古部海岸です。この場所は、伊良湖岬から浜名湖まで約55kmの砂浜が続く海岸線の中ほどにあり、釣りやサーフィンのメッカとして知られています。遠州灘に面する海岸は、砂浜の近くまで断崖が迫る地形で、この崖からいろいろな化石が発掘されます。はじめに、講師を務める日本古生物学会会員の田島広嗣先生から、この場所で化石が出る理由、産出される化石の時代、安全な化石採集の方法、子どもの頃の感動的な自然体験の意義など、わかりやすく教えていただきました。



化石について解説される田島先生



すごい化石を見つけるぞ!

見つけた子もいて、貴重なお土産になりました。発掘した化石に目を輝かせて見入っている子どもたちの姿は、私たち主催者にとっても、ネイチャーウォッチングの意義を再確認させてくれました。

最後に、アンケートに寄せられた声をご紹介します。

ずっと楽しみにしていた。貝の化石がたくさん見つかって楽しかった。(子) 人生初の化石発掘でしたが、思ったよりすぐに見つけられました。貝の見た目が大昔から変わらないことが興味深く感じました。(親)

化石発掘は子どもが一番楽しみにしており、前日からワクワクが止まらないようでした。お天気にも恵まれ、最高の化石発掘日和になりました。実際にいくつもの化石を発見でき、親子とも興奮気味でした。今回で最後なのが本当に寂しいですが、また応募させていただきたいです。ありがとうございました。(親)

化石に関する解説を受けた後、発掘できる場所へ移動しました。いよいよ化石の発掘です。崖の下の転石から田島先生が割り出された石をお父さん方に運んでいただき、親子で割って化石を探しました。この辺りの石は比較的柔らかく、簡単に割ることができます。次々に出てくる化石に、子どもたちだけでなくお父さん、お母さんも大興奮!

いろいろな種類や大きさの貝の化石

がたくさん発掘されました。中には

広葉樹の木の葉の化石やウニの化石



木の葉の化石!

思った以上に化石が発見できて驚きました。きれいな形で貝殻や葉っぱが出てきた時は感動でした。(親) いっぱい化石が取れて楽しかった。お家で飾りたい。(子)



「化石を発掘しよう」に参加された皆さん